

- 問1 瀬戸内海に面した地域では、1月と7月の両方において降水量が少なく、年間を通じて雨が少ない傾向があります。このような気候の特色がみられる主な理由を説明したものと、最も適切なものを選んでください。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. 一年を通じて勢力の強い高気圧に覆われ、上昇気流が発生しにくいため。 | 2. 季節風が、中国山地や四国山地などの山地によってさえぎられるため。 | 3. 冬の北西の季節風が湿った空気を運び、中国山地の斜面で雨を降らせるため。 | 4. 暖流である対馬海流の影響を強く受け、気温が上昇して乾燥するため。 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|--|-------------------------------------|
- 問2 大分県別府市の鶴見岳周辺の地形データにおいて、火口から北側へ流下すると予測される溶岩流の進路が、ある地点から東側へと大きく曲がっています。このように溶岩流が流れる方向を変える理由として、地形と溶岩の性質の観点から最も適切な説明はどれですか。 (2018年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 噴火時に吹く風の影響を強く受けるため、上空の風向きが北風から西風に変化したことに伴って溶岩の流方も東へと変わった。 | 2. 溶岩流は粘り気が強いので、傾斜が急な場所では等高線を横切らず、等高線に沿って標高が高い場所を維持するように流れた。 | 3. 溶岩流は地表面の温度が高い場所を好んで流れるため、地熱が低い谷間を避け、地熱が高い尾根筋に沿って進路を変えた。 | 4. 溶岩流は重力の影響を受け、周囲の土地より低い場所を選んで流れる性質があるため、谷などの地形に沿って進路が変わった。 |
|--|--|--|--|
- 問3 新潟県付近のように、冬の降水量が月間200mmを超えるなど、冬に湿潤で夏に晴天が多い気候の特徴が生じる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 冬の北西季節風が日本海で水蒸気を補給し、山脈の風上側で雪を降らせる一方、夏は山を越えた乾いた風の影響を受けるため。 | 2. 夏の南東季節風が太平洋から湿った空気を運び、日本海側まで到達して長期間の雨を降らせるため。 | 3. 周囲を高い山々に囲まれた盆地状の地形であり、季節風の影響を受けにくく、年間を通じて降水量が少ないため。 | 4. 一年を通じて偏西風の影響を強く受け、大陸からの乾燥した空気が常に供給されることで夏と冬の寒暖差が生まれるため。 |
|--|--|--|--|
- 問4 自然災害による被害が予想される区域や、避難場所・避難経路などの情報を住民に知らせるために作成された地図を何とといいますか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|------------|
| 1. 路線図 | 2. 等高線図 | 3. 地形図 | 4. ハザードマップ |
|--------|---------|--------|------------|
- 問5 各自治体が作成・公表している、地震や洪水などの自然災害が発生した際に被害が及ぶ可能性のある範囲や、避難場所・避難経路などの情報をまとめた地図を何と呼びますか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------|---------|--------|----------|
| 1. ハザードマップ (被害想定地図) | 2. 等高線図 | 3. 地形図 | 4. 土地利用図 |
|---------------------|---------|--------|----------|
- 問6 三重県の志摩半島付近に代表されるような、複雑に海岸線が入り組んだ地形について、その名称と産業上の特徴を説明したものと最も適切なものはどれか。 (2017年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 砂丘と呼ばれ、強い風を利用した風力発電や観光地としての利用が中心となっている。 | 2. リアス海岸と呼ばれ、入江の中は波が穏やかであるため真珠やカキなどの養殖業に適している。 | 3. 扇状地と呼ばれ、水はけがよいので果樹園や畑として利用されることが多い。 | 4. 三角州と呼ばれ、土地が平坦で水分が豊富であるため稲作が盛んに行われている。 |
|--|--|--|--|
- 問7 三陸海岸の南部などに見られる、陸地が沈降して谷間に海水が入り込み形成された、のこぎりの歯のような複雑な形状の海岸を何というか。 (2018年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|----------|
| 1. 扇状地 | 2. 砂州 | 3. 干拓地 | 4. リアス海岸 |
|--------|-------|--------|----------|
- 問8 夏から秋にかけての降水量が非常に多く、年間の総降水量が二千ミリメートル近くに達する地域が見られます。このような「太平洋側の気候」において、特定の時期に降水量が急増する主な要因として正しい説明はどれですか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|------------------------------|----------------------------------|-------------------------------|
| 1. 暖流である対馬海流の影響で、冬の間に雪雲が発達しやすいため | 2. 冬に北西から吹く湿った季節風が山地を越えてくるため | 3. 夏に南東から吹く湿った季節風や、台風の影響を強く受けるため | 4. 周囲を高い山に囲まれ、湿った空気が入り込みにくいから |
|----------------------------------|------------------------------|----------------------------------|-------------------------------|
- 問9 太平洋を囲むように分布し、日本列島もその一部に含まれる造山帯の特徴として、最も適切な説明はどれですか。複数のプレートが重なり合う境界付近に位置していることを考慮して選んでください。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 安定陸塊と呼ばれ、地殻が非常に安定しているため、大規模な地震や火山活動はほとんど見られない。 | 2. 古期造山帯に分類され、長期間の侵食を受けたことによって、なだらかな山地や高原が広がっている。 | 3. アルプス・ヒマラヤ造山帯に含まれ、ヨーロッパからアジアを横断して日本まで続いている。 | 4. 新期造山帯に分類され、地殻変動が活発なため、険しい山脈や火山が多く地震も頻繁に発生する。 |
|---|---|---|---|
- 問10 日本近海の地図において、北海道や東北地方の太平洋側に沿って北から南下してくる海流が示されている場合、この寒流の名称として適切なものはどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|----------|--------------|---------|
| 1. 親潮 (千島海流) | 2. リマン海流 | 3. 黒潮 (日本海流) | 4. 対馬海流 |
|--------------|----------|--------------|---------|
- 問11 三陸海岸の一部を上空から観察すると、海が陸地の奥深くまで入り込み、複雑な海岸線を描いていることがわかります。このような地形が持つ、防災上の特徴に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2026年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 海岸線が直線的で遠浅であるため、波のエネルギーが分散し、津波による被害が軽減されやすい。 | 2. 海岸沿いに階段状の平地が広がっているため、波が陸地に到達する前に威力が弱まりやすい。 | 3. 沿岸に砂が堆積してできた砂礁があるため、それが防波堤の役割を果たして浸水を防ぎやすい。 | 4. 湾の入り口が広く奥に向かって狭まっているため、津波のエネルギーが集中して波が高くなりやすい。 |
|---|---|--|---|
- 問12 日本の気候区分において、太平洋側の気候に見られる「冬に晴天が多く、乾燥する」という仕組みの背景にある、地形と気流の関係を説明したものと最も適切なものを選びなさい。 (2017年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 太平洋側を流れる暖流によって空気が温められ、上昇気流が発生することで雲が消散し、乾燥した天気が続くため。 | 2. 瀬戸内海沿岸と同様に、北側の中国山地と南側の四国山地の両方によって湿った季節風が遮断されるため。 | 3. 冬になるとシベリア高気圧が南下し、太平洋の湿った空気が日本列島に到達するのを完全に遮断してしまうため。 | 4. 冬の季節風が中央の山地を越える際、日本海側に水分を落としたあと、乾いた風となって太平洋側に吹き降するため。 |
|---|---|--|--|
- 問13 日本海側の地域において、冬の降水 (降雪) 量が多くなるメカニズムを説明したものと、最も適切なものはどれか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 冬に南東から吹く季節風が、太平洋を渡る際に水蒸気を蓄え、山脈を越えた後の日本海側で乾燥した空気を送る。 | 2. 一年中吹く偏西風が、日本海流 (黒潮) によって温められた水蒸気を直接運び込み、冬の山沿いに雨をもたらす。 | 3. 冬に北西から吹く季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、山脈にぶつかって上昇することで雪を降らせる。 | 4. 赤道付近で発生した低気圧が日本海を北上し、暖かく湿った空気を山脈にぶつけることで大量の雪を降らせる。 |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 季節風が、中国山地や四国山地などの山地によってさえぎられるため。	瀬戸内の気候が年間を通じて温暖で降水量が少ないのは、北側の中国山地と南側の四国山地に挟まれているためです。夏は太平洋からの湿った南東の季節風が四国山地に、冬は日本海からの湿った北西の季節風が中国山地にさえぎられ、その山を越えた乾燥した空気が流れ込むことが、降水量の少なさにつながっています。
問2	答え 4 溶岩流は重力の影響を受け、周囲の土地より低い場所を選んで流れる性質があるため、谷などの地形に沿って進路が変わった。	溶岩流は液体状の物質が流出する現象であるため、水と同様に重力に従って標高の高い所から低い所へと流れます。地形図において等高線が山頂側（高い方）に食い込んでいる部分は谷や窪地を指しており、周囲の土地より低い地形となっています。このため、流下途中にこうした低い地形が存在すると、溶岩流はそこを流路として進むため、地形の起伏に合わせて進路が変化します。
問3	答え 1 冬の北西季節風が日本海で水蒸気を補給し、山脈の風上側で雪を降らせる一方、夏は山を越えた乾いた風の影響を受けるため。	日本海側の地域では、冬は北西からの季節風が日本海で水分を得て雪を降らせるため、降水量が非常に多くなります。逆に夏は、太平洋から吹く南東の季節風が中央の山脈で水分を落とした後に吹き下ろしてくるため、晴天の日が多くなり、気温も上昇しやすい（フェーン現象が発生することもある）というメカニズムになっています。
問4	答え 4 ハザードマップ	災害が発生した際の被害予測（浸水する範囲や土砂災害の危険性など）と、避難に関する情報を1つの地図にまとめたものです。住民が事前に地域の危険度を把握し、迅速な避難行動につなげる役割を持っています。
問5	答え 1 ハザードマップ（被害想定地図）	自然災害による被害の予測範囲や程度、避難場所などの情報をあらかじめ住民に提供することで、迅速かつ安全な避難を支援することを目的としています。地形図や等高線図は地表の形態を正確に表すためのものであり、災害予測に特化したハザードマップとは役割が異なります。
問6	答え 2 リアス海岸と呼ばれ、入江の中は波が穏やかであるため真珠やカキなどの養殖業に適している。	三重県の志摩半島や岩手県の三陸海岸南部に見られるような、山地が沈水してできた複雑な凹凸を持つ海岸線をリアス海岸と呼びます。この地形は入り組んだ入江によって外海からの波が遮られるため、波が非常に穏やかになるという特性があります。そのため、真珠やカキ、ワカメなどの養殖いかだを設置するのに非常に適した環境となっており、古くから水産業が発展してきました。扇状地や三角州は川の流れによって土砂が堆積してできた地形で、海岸線の形状を指す用語ではありません。
問7	答え 4 リアス海岸	山地が海に沈んだり海面が上昇したりすることで、谷だった部分に海水が入り込んで形成されます。海岸線が複雑に入り組んでいるのが特徴で、波が静かな湾内では養殖業が盛んですが、津波の被害を受けやすい地形でもあります。
問8	答え 3 夏に南東から吹く湿った季節風や、台風の影響を強く受けるため	太平洋側の地域では、夏に太平洋側から吹き込む湿った季節風が山地にあたって上昇気流が発生し、雨を降らせます。また、夏から秋にかけては台風や梅雨前線の影響をダイレクトに受けるため、この時期に降水量が集中します。これに対し、冬は山を越えた後の乾燥した風が吹くため、晴天が続く乾燥するのが特徴です。
問9	答え 4 新期造山帯に分類され、地殻変動が活発なため、険しい山脈や火山が多く地震も頻繁に発生する。	日本列島が位置する環太平洋造山帯は、中生代以降の比較的新しい時代に形成が始まった「新期造山帯」です。海洋プレートと大陸プレートがぶつかり合う境界に位置するため、現在も地殻変動が激しく、標高の高い山脈が形成されるとともに、マグマの供給による火山活動や、プレートのひずみに起因する地震が非常に多く発生するという特徴があります。
問10	答え 1 親潮（千島海流）	北海道や東北地方の太平洋側を千島列島沿いに南下してくる寒流は親潮（千島海流）と呼ばれます。この海流はプランクトンを豊富に含んでおり、三陸沖で暖流の黒潮とぶつかります。リマン海流は日本海側を南下する寒流、対馬海流は日本海側を北上する暖流です。
問11	答え 4 湾の入り口が広く奥に向かって狭まっているため、津波のエネルギーが集中して波が高くなりやすい。	リアス海岸特有の、奥に細長く入り込んだ湾の形状が、津波の被害を大きくする要因となります。沖合から押し寄せた津波が湾の奥へ進むにつれて、湾の幅や水深が減少していくため、波のエネルギーが狭い範囲に集中し、波高が急激に増大して甚大な被害をもたらすことがあります。
問12	答え 4 冬の季節風が中央の山地を越える際、日本海側に水分を落としたあと、乾いた風となって太平洋側に吹き降るため。	日本の太平洋側の冬の気候を決定づけるのは、日本列島の中央部を走る山地・山脈の存在です。大陸から吹き付ける湿った北西の季節風は、これらの山地にぶつかり、日本海側に雪や雨を降らせます。水分を失った気流が山を越えて太平洋側に吹き降る際、乾燥した下降気流となるため、雲ができにくく晴天が続くという因果関係があります。これが太平洋側の気候の大きな特徴です。
問13	答え 3 冬に北西から吹く季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、山脈にぶつかって上昇することで雪を降らせる。	日本の冬は、シベリア高気圧から吹き出す北西の季節風の影響を強く受けます。この季節風が比較的暖かい日本海の上を通過する際、大量の水蒸気を吸収します。水分を含んだ湿った空気が日本の背骨にあたる奥羽山脈や三国山脈などの高い山々にぶつかって上昇し、冷却されることで雪となって降ります。そのため、山脈の西側に位置する日本海側の地域では、冬の降水量が非常に多くなるという特徴があります。